



URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



▲栃木県のがん診療の取り組みに関して質問する研修員
(がんセンター)



▲メディカル・シミュレーションセンターでの体験
(自治医科大学)



▲へき地医療について現場を訪問し 医師から学ぶ研修員
(奥日光診療所)



▲小学校における保健教育の研修後に先生たちと記念
撮影(昭和小学校)

「ミャンマーから 地域保健医療を学ぶ研修員が来県」

開発途上国の青年を日本に招へいし、専門分野の研修を通して将来の国づくりを担う人材を育成する「JICA 青年研修事業」の一環として、ミャンマーから、地域保健医療に携わる保健省所属の医師・保健師 14 名を、2 月 23 日(火)～3 月 7 日(月)の 2 週間、本県に受入れました。

研修員は、「栃木県の地域保健医療行政」の講義を皮切りに、がんセンター、奥日光診療所、国際医療福祉大学病院などの医療機関、県西健康福祉センター、宇都宮市保健センターなどの住民サービス機関、自治医科大学、衛生福祉大学校、国際医療福祉大学などの人材育成機関を視察し、地域保健医療に関するさまざまな取り組みを学びました。また宇都宮市立昭和小学校を訪問し、学校における保健教育の現場を見学しました。その他、日本文化研修として、書道・華道・茶道を体験しました。どの研修先でも多くの意欲的な質問が飛び交いました。

研修終了後の報告会では、「日本の進んだ地域保健医療を学ぶことができた」、「帰国したらできることからすぐに取り掛かりたい」など、感想や今後の抱負を述べました。

2016年6月号

No.135

Summer

ようこそとちぎへ
やあ！クローズアップ
TIA インフォメーション
JICA 情報局

平成 28 年度栃木県国際交流員 翁 嘉 さん(中国)
ハラルを知ろう！
とちぎ国際交流センター・無料 Wi-Fi 始めました
JICA 栃木デスクのご案内＆新担当者紹介

「映画で学ぶ英会話」

1月14日(木)～3月24日(木) 10回講座
とちぎ国際交流センター

名画「ローマの休日 Roman Holiday」を教材として英会話を学ぶ講座を行い、英会話を学びたい方はもちろん、映画好きな方など25名が参加しました。講師はTIAの「はじめての英会話」でおなじみのイギリス出身のマーク・マコーマック氏で、映画のセリフから、さまざまな生きた英語表現を学びました。参加者からは、「素敵な映像を見ながら楽しく受講できた」、「難しい表現を簡単な言い方に直してくれてわかりやすかった」などの感想をいただきました。



▲講師のマコーマック氏と楽しい雰囲気での英会話に親しんだ

「やさしい日本語セミナー」

2月27日(土)
西那須野公民館

日本語が不得手な外国人にわかりやすく伝える「やさしい日本語」を学ぶセミナーを那須塩原市、那須塩原市国際交流協会とともに実施しました。講師は、多文化共生の視点で日本語の話し言葉の研究を行っている、一橋大学国際教育センター准教授の柳田直美氏。やさしい日本語は、外国人住民に必要な情報を伝え、日常生活などがスムーズにいくようサポートできる言葉であり、日本人と外国人がやさしい日本語を媒介として交流することが理想だとのお話がありました。

また、やさしい日本語で書くときのポイントは、短い文にする、大事な情報は最初に書くこと。話すときは、長く続けて話さない、理解しているかどうか確認するなど具体的な方法を学びました。

その後は、役所の職員が外国人住民に窓口対応をしている映像を見て、話す内容やスピードなど気づいた点を話し合ったり、参加者同士でやさしい日本語で話す練習などを行いました。参加後の感想は、実践したいという積極的な意見が多く、「外国人の友人



▲グループで話す練習や意見交換を行う参加者



▲講師の柳田氏がわかりやすく解説

にやさしい日本語で話してみたい」、「単に言葉を換えるだけでなく、相手の気持ちを考えることがわかった」など大変好評でした。

防災訓練「多言語翻訳シミュレーション」

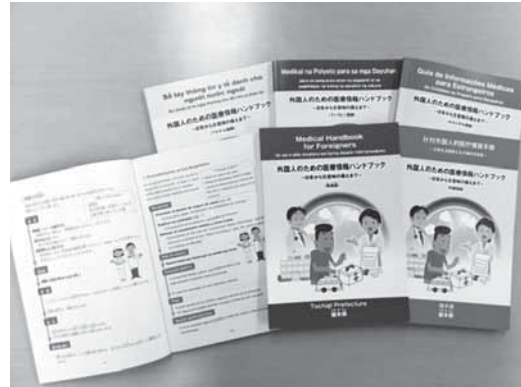
3月22日(火)～24日(木)

災害時に必要な情報を外国人住民などに迅速に提供するため、栃木県内の市町国際交流協会との連携により、メーリングリストを活用した多言語翻訳のシミュレーションを実施しました。

今回は栃木県北部を震源とするM7.8の直下型地震が発生し、日光市が被災したと想定し、日光市の災害対策本部からの翻訳要請に、各協会の職員や協力者が翻訳を行いました。シミュレーションには55名が参加し、限られた時間のなかで、地震の概況、食料の配布、交通情報、避難所の案内などの災害関連の情報を、英語、スペイン語、中国語、韓国語、ポルトガル語、やさしい日本語など11か国語に翻訳しました。

「外国人のための医療情報ハンドブック

～日常から災害時の備えまで～」を発行しました！



▲サイズはA5版の約100ページで持ち運びに便利

TIAでは栃木県の委託を受けて、在住外国人に不安なく医療サービスを利用していただけよう、一般的な医療情報、保険制度のほか、

災害時の医療情報や健康管理などを広く知っていただくため、外国語と日本語併記による医療情報を提供したハンドブックを作成及び配布しました。言語は、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、ベトナム語の6種類。左側が日本語(ルビ付き)、右側が外国語で、外国人が日本語の表現を確認したり、外国人・日本人がお互いに質問や説明ができるレイアウトとなっています。

もくじ(一部抜粋)

I 一般的な医療情報

日本の病院について

診療科

病院での流れ

症状の伝え方

通訳について

医療ソーシャルワーカー

II 薬について

薬の求め方

薬の種類と薬局での表現

III 健康保険と医療費

IV 災害時の医療情報

災害時のけがや病気の予防

災害時によく使われる表現

V 巻末資料

個人データカード

病名・アレルギーリスト

県内の休日夜間急患センター

外国人のための相談窓口

非常持出品のチェックリスト

とちぎ国際交流センターほか市町、市町国際交流協会等で配布しています。TIAのホームページでダウンロードもできます。

<http://tia21.or.jp/publications.html>

周囲の外国人の方々にもお知らせください。

ようこそとちぎへ！ WELCOME TO TOCHIGI!

平成28年度 栃木県国際交流員（中国）

オウ カ
翁 嘉 さん

中国浙江省杭州市出身。
中国では、観光分野の職業
大学である浙江旅遊職業学院
で日本語や日本文化の教鞭を
とっていた。今年4月から
栃木県庁国際課に勤務。



—こんにちは。今まで、日本に来たことはありますか。

以前、東京や神奈川の大学に4年ほど留学していました。中国の浙江大学では理系だったので、日本語は日本に来てから学びました。日本の大学では、様々な国から留学生が集まっているので、いろいろな考え方に触れ、多角的な視点で母国を見つめ直すことができて、非常に貴重な経験になりました。

—どんなことに関心を持ちましたか。

異文化理解ですね。他の文化に触れると驚くこともありますが、その違いには必ず背景があるんです。例えば、日本の飲食店では冬でも氷を入れたお冷やを出しますが、中国ではお湯を出すのが一般的なもので、多くの中国人が不思議に思っています。しかし日本は、氷を入れるという手間を加えることでおもてなしの心を表しているのだと思います。違いを拒むのではなく、その理由を知るのは必要だし、大変面白いです。

—中国でのお仕事
について教えてく
ださい。

大学で、日本語
や日本文化を分か
りやすく教えてい
ました。学生たち



▲専門学校の教室で教え子たちと来日前に記念撮影

は、主に観光ガイドや日系企業への就職を希望しています。また、一年間の技能研修として毎年約40人の学生を日本の温泉ホテルに派遣しており、私も2014年に学生たちを引率して小山市に1か月間滞在していたこともあります。

—翁さんの趣味は何ですか。

日本に来る前は、息子の面倒を見るのが精一杯で、趣味の時間は持てなかったですね。ただ、言語を教える仕事柄、だじゃれやギャグなど言葉遊びが好きなので、授業にも取り入れていました。



▲息子の天成君と

—そうですか！栃木県での生活が始まったばかりですね。

先日、修理をお願いした自転車屋さんが、鍵にキーホルダーを付けて渡してくれたんです！この親切は予想以上でした。私はこのような日本の良さを中国に伝え、日本の皆さんにも中国のことを知ってもらえるよう日中交流のお手伝いをしたいと思っています。

TIA クローズアップ 「ハラールを知ろう！」

世界三大宗教の一つであるイスラム教は、中東や西アジア、東南アジアなどを中心に世界中に信徒（ムスリム）がいます。栃木県に住むムスリムもいますし、海外から観光客として訪れるなど徐々に身近な存在になりつつあります。ムスリムはイスラム法に則った食べ物（ハラールフード）だけ口にすることができます。今回は、このハラールやムスリムの生活について、マレーシア出身の宇都宮大学の留学生たちに教えてもらいました。

1. ハラールフードって何？

スーパーでお肉などに「HALAL」のマークを見たことがある方も多いと思います。「ハラール」とは「許された」という意味で、鶏肉や牛肉もイスラム教の教え通りに清められていれば食べられます。禁止されているのは、豚肉、アルコールなどです。注意が必要なのは、豚肉を使ったハムなどの加工食品や豚肉エキスが入った液体スープや粉の調味料を使った料理。また、和食は日本酒や



▲わかりやすく教えてくれたマレーシアの留学生
左からファラさん、ヌルルさん、ヌルさん

みりんで味付けることがあります。アルコール禁止のムスリムには配慮が必要です。他にも気づきにくいのが、お菓子。これも大丈夫なものやとダメなものがあるそうです。

2. わからないことは直接聞いてOK

今後、ムスリムの方々と交流したり、おもてなしをする時、ハラールにきちんと対応できるか心配な気持ちを率直に伝えてみました。宇都宮大学国際学部4年生のヌル・シャフィナズさん



▲ハラールの材料で作った牛井

は「私たち自身が気をつけて食べたり、表示を見て買い物をするので、あまり心配しなくて大丈夫です。むしろ、イスラム教でこれは大丈夫とかか聞いてくれる方がうれしいです」とのこと。また、個人によって考え方の違いがあるので、一人の話を聞いて他のムスリムも同じだと思わない方がいいようです。

3. ムスリムの生活

食べ物以外にもムスリムの生活には決まりがあります。多くのムスリムの女性はヒジャブなどスカーフのようなものを頭に巻いて外出します。また、礼拝の時間は1日5回あり、体を清めてから一人になれる静かな場所で、メッカの方角に向かってお祈りします。礼拝の時間帯には幅があり、例えば11時のお祈りの時間になったら、直ちにお祈りをするというのではなく、状況に応じて柔軟に時間を確保しているとのこと。ただ、日本で生活していると、外出中は場所を探すのが一苦労なのだそうです。

ムスリムの皆さんが安心して過ごせるよう、ハラールやお祈りなどの習慣を理解し、楽しい交流を持ちましょう！

<TIA相談事業のご案内>

TIAでは、外国人からの、または外国人に関わる相談を電話や面談でお受けしています。相談料は無料で、秘密は厳守します。

ご相談・ご予約は TIA相談専用電話
028-627-3399

- ◆TIA総合相談◆ 予約不要です
対応日時：火曜日～土曜日 9:00～16:00
対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語（火曜日 9:00～12:00）
*その他の言語はご相談ください。

- ◆TIA専門相談◆ 予約が必要です
各種専門的な相談はこちら。通訳が付き、個室で相談できます。

法律相談／協力：栃木県弁護士会
毎月第1火曜日 10:00～12:00（祝日の場合は第3火曜日）
在留資格・ビザ相談／協力：栃木県行政書士会
毎月第2水曜日 10:00～12:00（祝日の場合は第4水曜日）
精神保健相談／共催：栃木県精神保健福祉センター
月2回 15:00～16:00

<TIA新スタッフのご紹介>

4月からTIAの常勤職員として勤務することになりました松本 淳（まつもと じゅん）です。

私は、アメリカのテキサスでの留学を経て、カナダのモントリオールでツアーガイドとして働いていました。ヨーロッパでは3か月間バックパッカーを経験したことがあります。帰国後は、英語講師として子どもたちに外国の魅力を伝えていました。以前はロッククライミング、ボクシング、自転車が好きだったのですが、今は2才の息子と遊んだり、一緒に電車を見に行ったりすることが多くなりました。



TIAでは、外国語講座、英語での相談、携帯メールによる情報配信サービス、経理等を担当しています。



今後は、皆さまと協力して、日本人も外国人も住みやすい環境を作っていきたいと思っています。とちぎ国際交流センターなどでお会いする機会もあると思います。英語でも日本語でも気軽に話しかけてください！

JICA 情報局

JICA 栃木デスクのご案内 ～新担当者紹介！～

JICA 国内拠点（全国に15カ所）のうち、栃木県はJICA 筑波が所管しており、「地域の JICA 窓口」として、JICA 栃木デスクをとちぎ国際交流センター内に設置しています。JICA が実施する事業に対する支援、広報、啓発活動の推進など、市民参加協力事業を幅広く展開しています。

開発教育支援事業

学校の先生や県民の皆様を対象に、栃木県国際交流協会と連携し、「国際理解出前講座」を実施しています。

ボランティア派遣

JICA ボランティアは年4回の派遣があり、年に2回、募集説明会を栃木県内で開催しています。

中小企業海外展開支援事業

中小企業の優れた製品や技術を、途上国の開発に活用！と同時に企業の活性化を目指す事業です。

草の根技術協力事業

自治体、NGO、大学などと JICA が連携して行う国際協力連携事業です。

JICA 栃木デスク

今年4月に栃木デスクの担当となりました熊倉百合子です。協力隊ではインドネシアで活動していました。栃木県の皆さんに、国際交流・国際協力のおもしろさを実感していただけるよう取り組みます。どうぞ、お気軽にデスクまでご連絡ください！



くまくら ゆりこ
熊倉百合子（佐野市出身）

<とちぎ国際交流センターのご案内>

無料 Wi-Fi 始めました！

センター1階の交流ラウンジ、図書閲覧室はどなたでもご利用いただけます。外国人住民向けの情報誌や海外留学の雑誌等を備え、図書や視聴覚教材、国旗

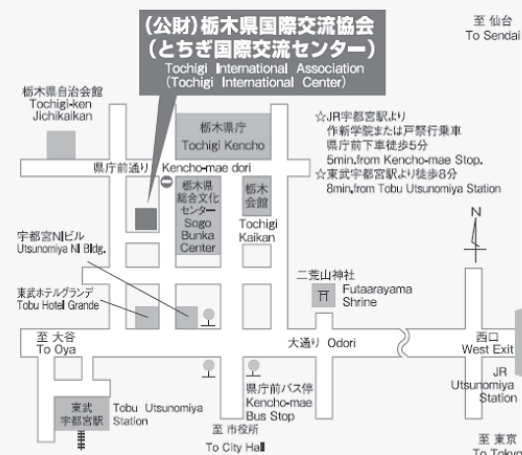


などの貸し出しも行っています。また、センター内の無料Wi-Fiも始めました。お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

開館時間

火曜日～土曜日 9:00～17:00
（日曜・月曜・祝日、年末年始は休館）

TIA ご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777（代表）028-627-3399（相談専用）
F A X 028-621-0951
業 務 時 間 8:30～17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日